株式会社アイビスホールディングス
identity begin inclusive scenario

2026年８月31日

各位

会 社 名　　株式会社アイビスホールディングス
（コード番号 9334 TOKYO PRO Market、Fukuoka PRO Market）
代表者名　　代表取締役社長　　永江 榮司
問合せ先　　取締役管理部長　　猪田 寛生
T　E　L　　052-526-1590
U　R　L　　https://www.ibisholdings.co.jp/
会 社 名　　株式会社アイビスホールディングス

2026年10月期　通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、８月31日開催の取締役会において、以下のとおり、2026年10月期（2025年11月１日～2026年10月31日）通期について、2025年12月15日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

１．2026年10月期　通期連結業績予想数値の修正

（2025年11月１日～2026年10月31日）

	売上高 （百万円）	営業利益 （百万円）	経常利益 （百万円）	親会社株主に帰属する当期純利益 （百万円）	１株当たり当期純利益 （円　銭）
前回発表予想（A）	1,384	136	140	106	59.19
今回発表予想（B）	1,488	157	145	100	56.02
増減額（B－A）	104	20	5	△5	－
増減率（%）	7.5	15.3	3.6	△5.4	－
（ご参考）前期実績（2025年10月期）	1,094	40	45	35	19.62

（注）１．当社は、2026年７月15日取締役会決議により、2026年８月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。2025年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり当期純利益を算定しております。
２．１株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数(2026年10月期については予定)により算出しております。

２．差異の理由

当連結会計年度における当社グループの業績におきましては、就労継続支援Ｂ型事業において、2026年６月に施行された臨時の障害福祉サービス等報酬改定における算定区分の見直しによる単価引き下げ等の影響はありましたが、各事業所での積極的な利用者獲得施策および通所率の向上に向けた日々の地道な取り組みが奏功し、利用者数が計画を大きく上回って堅調に推移したため、子会社（株式会社IBIS東海等）における障害福祉サービス等事業収入の上振れに加え、定員超過リスクの回避およびステップアップ支援の機会拡大を目的とした新規施設外作業所の順次開設及び稼働、並びに子会社（株式会社スマイルライフ）における中古品販売の堅調な取引推移等の寄与により、前回公表予想を104百万円上回る1,488百万円（前回発表予想比7.5％増）となる見込みであります。

営業利益におきましては、事業拡大に伴う売上原価および販管費の増加がありましたが、増収効果による売上総利益の増加がこれを上回り、前回公表予想を20百万円上回る157百万円（前回発表予想比15.3％増）となる見込みであります。経常利益におきましては、営業利益の上振れがありましたが、一般市場上場申請等に伴う手数料や監査報酬酬等の営業外費用の追加計上を見込んだ結果、前回公表予想を５百万円上回る145百万円（前回発表予想比3.6％増）にとどまる見込みであります。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益におきましては、税引前当期純利益段階までは前回発表予想を上回って推移しているものの、大幅な増収増益となった連結子会社における課税所得の増加に伴う法人税等の負担増加（税金費用の増加）等を慎重に見込んだ結果、前回公表予想を５百万円下回る100百万円（前回発表予想比5.4％減）となる見込みであります。

以上